

会 議 記 録 簿

件 名	令和7年度第6回恵庭市生涯学習推進協議会 (社会教育委員の会議・公民館運営審議会 合同会議)		
日 時	令和7年11月19日(水) 14:00～16:00	会 場	市民会館(大会議室)
出席者	生涯学習推進協議会委員(敬称略) 松田、平井、中山、佐藤、水野、茶園、根深、高橋 八木橋、吉田、大塚、渡辺、徳家、藤岡、熊野、小川原 (欠席者)井上、安中、神田、野藤 市教委 山口次長、津田主査(社会教育主事)、飛弾野主事	人 数	委員 16名 市教委 3名 計 19名
概 要			
1. 開 会 2. 会長挨拶 松田会長より挨拶 3. 【議題】 (1) 第6期恵庭市生涯学習基本計画(案)の内容確認 ◆大きな修正点 ＜水野委員＞ ・“であい”について、“出合い”や“出会い”とした方が読みやすいのでは？ ➢(協議) ・人とのであいは“出合い”、本とのであいは“出会い”など使い分けが必要となる。基本理念はどちらも通じるように“であい”として、文章中は適宜使い分けるとよいのでは。 ・それにかかわって、基本目標1は「学びとの“であい”を支える」としているが、人や世界とのであいも含まれるので、“であい”を支える」としてよいのでは。 ➢基本目標1「“であい”を支える」とする。 ＜A委員＞ ・基本目標1「“であい”を支える」の「②青少年期」と「③成人期」の間の層への学び支援が薄い印象を受ける。高校生や大学生などの若者への支援も含めたものにしたいほうがよい。 ➢そのとおり修正する。 ＜B委員＞ ・基本施策8「世代や特性を問わない」という表現より、「すべてのひと」や「さまざまな人」とするとよいのでは。世代の違いや障がいの有無をあえて抜き出す、というより、さまざまな人としたほうがよい。 ➢そのとおり修正する。 ＜C委員＞ ・基本施策2内の「⑨グローバル化」「⑩デジタル化」「⑪生活・地域」に関する学びは、“市民のニーズに応じた多様な学びとのであいの充実”というより、基本施策3として、“今日的に必要な学びとのであいの充実”と整理したほうがよいのでは。 ➢そのとおり修正する。 ＜D委員＞ ・基本施策4のなかに「恵庭市民会館」を追加すべき。 ➢そのとおり修正する。			

◆その他文言整理等

- ・全体に「～のような」という表現が多いので言い切るかたちとしてはどうか。
- ・第6期恵庭市総合計画との関係性がわかりづらいので明確にした方がよい。
- ・生涯学習社会を説明する文章中、「成果が適切に評価されるような社会」という表現の修正。
- ・計画に記載する事業写真については、基本施策をわかりやすく表すものとして重要である。また、個人情報に留意した方がよい。



(2) 今後のスケジュールについて

委員の皆さんからいただいた意見を反映させた案をもって、12/5の教育委員会および12/8の総務文教常任委員会にて報告予定。年明け1月7日からパブリックコメントの募集開始を予定している。それまでにお気づきの点などがあれば随時ご連絡いただきたい旨周知。

1月から恵庭市民会館の改修工事開始となるため、今後の会議は島松公民館等を予定。

以上